

---

# **靈魂！**

花宮月弥

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

「」のPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ  
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。  
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または  
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ  
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範  
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し  
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

靈魂！

### 【Zマーク】

Z2122Y

### 【作者名】

花富月弥

### 【あらすじ】

「幽靈つてほんとにこると思ひ?~

「んー……。

でも、『こる』って言つたら世界中大パニックになるよね

中学2年生の少女、鈴堂新菜とその“守護霊”、蒼柳。  
どうしようもない凸凹モンビが世界を救うかも?

“靈魂使い”を名乗る人間たち。

“守護霊”を名乗る靈魂たち。

そして“悪霊”と呼ばれる靈魂。

ゆるゆるなラブ（？）アクション！

（ホラーというジャンルに入るのかもしれません）

## プロローグ（前書き）

ここにあはー。

花宮、はじめての投稿になります。

お世話を通じてくださいり、本物のありがとうございます。

「靈魂ー！」は、完全にわたしの好みの話となつてしましました。  
でも、とても厚かましいお願ひではあります、最後までおつきあ  
いいただけたら嬉しいです。

拙いながらも少しずつ頑張っていきたいと思います。  
どうぞよろしくお願ひいたします。

## プロローグ

### 【プロローグ】

クーラーは快適な温度を保つているはずなのだが、じつとつと汗をかいている。

「あ、あたしじゃなことよー。」

しかも、うすら寒い。

「（別に）二イナを隠つていいわけじゃない。この件に二イナが関わっているのだから、と言つていいのだ。）」

よく聞いていたこと聞き漏らしてしまった程、微かな声。わざやくようじて、心地よく響くはずの女の声は、今の新菜にとって恐怖でしかない。

事件は一昨日起つた。

ある男のルール違反を田撃した新菜は、すぐに口をつぶしてしまったが、できなかつたのだ。それは、その男と回罪だとこいつ」とを指す。

「（）……」

「（）（）イナは嘘が下手なのだから、隠す必要などない。何度もそう言わせるつもりだ？」

切れ長の鋭い眼光を放つ瞳が新菜を見据える。  
新菜はあわあわ、と抵抗を試みたが、結局何もできずに、うなだれた。

「ソウリュウはたまに鋭すぎてイヤ。」

新菜の呟きを聞いて、蒼柳は笑みを深める。  
新菜はふと顔を上げると、観念したようにバンザイした。

「ミシがやったんだよ、あの事件は。」

「（）（）……？）」

「そり、オオサキミシ。あたしと同じ学校の先輩で、あたしの直属の上司。」

でもね、事件を起してる時のミシは『やられてる』みたいな感じ  
だったから、かわいそうで。」

大崎密はルール違反をするような男ではない。

正義感が強すぎる故に他の人と折り合いがつかず、最終的に新菜  
とペアを組むことになつたという経緯まで持つ。

そんな男が簡単にルール違反をするだろうか。

「ま。バレちゃったんだから、ソウコロウモー一緒に考えてみね。」

「（無論だ。）」

黒田がちの大きな目をくしゃり、とじて笑つと蒼流もふつ、と笑い声をもらす。

「（私は）イナの“守護霊”だからな」

これは少女、鈴堂新菜 リンドウ＝イナ と、その“守護霊”、蒼柳の話である。

靈魂！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2122y/>

---

靈魂！

2011年11月4日16時19分発行